

公益信託 エスペック地球環境研究・技術基金

平成20年度 助成金研究報告書

1. 研究のテーマ

昆陽池水辺環境再生の一環としてヨシ原の再生に取り組む

2. 申請者

伊丹の自然を守り育てる会 会長 服部 保

3. 概要

昆陽池のヨシ原再生への取り組みを実施しており、昨年度にヨシマットを購入・設置したが、すでに侵入していた特定外来生物であるヌートリア*1に食害で多大な被害を受けた。

そのため、本年度はヌートリアの食害を防止する防護柵を設置、範囲にある特定外来生物ナガエツルノゲイトウ*2を除去し、ヨシマットを設置する。



ヌートリア *Myocastor coypus*

特定外来生物

南アメリカ原産の大型のネズミ

戦時中、軍用の毛皮調達のため養殖されていたが、敗戦後に放棄され、各地で野生化し分布を拡大した
昆陽池では平成になってから確認されている



ナガエツルノゲイトウ

Alternanthera philloxeroides Griseb

特定外来生物

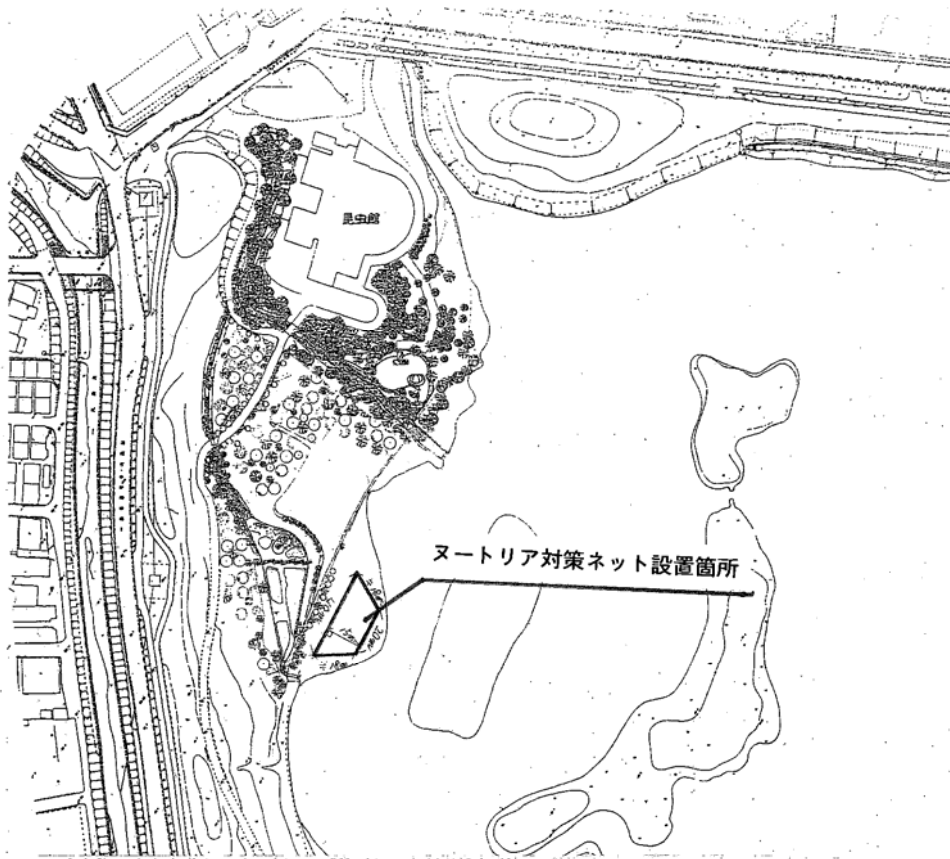
南アメリカ原産のヒユ科多年生草本

水辺で湿性植物として出発し、水上に茎を伸ばし、節間の空気を浮きに利用し抽水植物として広がる

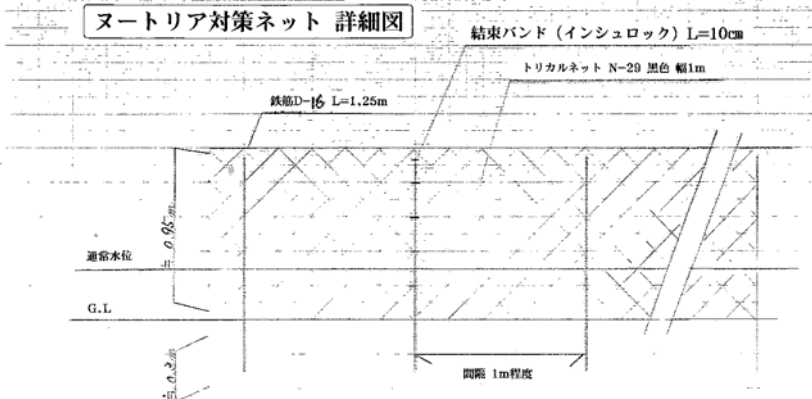
4. ノートリア対策ネット設置箇所及び詳細図(下図参照)

設置場所は昆陽池の北側浅瀬の一部(約450m²)

構造は異形棒鉄筋D-16を1.25mに切断、塗装したものを支柱として、約1mの間隔で建て込む。その支柱に沿って幅1mのトリカルネット(N-29)をインシュロックで固定し、設置する。



ノートリア対策ネット 詳細図



5. 活動経過

- 平成21年3月 8日 設置箇所周辺のナガエツルノゲイトウ除去(写真 ・)
平成21年3月10日 ヌートリア対策ネット設置(写真 ・)
平成21年3月24日 ヌートリア対策ネット補強(写真 ・)
平成21年3月31日 ヨシマット設置(写真 ・)



6. ヨシの生育状況

平成21年4月13日 設置後2週間(写真)
平成21年4月22日 設置後3週間(写真)
平成21年7月28日 設置後4ヶ月(写真)

① 新芽が出始めた



②



③ 高さ1m程度まで生長



④ ナガエツルノゲイトウも繁茂



6. 結果と課題

- ・ヌートリアの食害は全くなく、防護柵の効果は高いと思われる。
- ・ナガエツルノゲイトウの除草作業の効果はあまりなかった。
これは、時期が遅く、茎が枯れており、思うように根を除去できなかったことが大きいと思われる。
- ・ヨシは草丈も高くなり、ナガエツルノゲイトウによる影響は低いと思われるが、今後も適宜、除草等の管理作業を実施することでヨシ原の再生を目指したい。
- ・将来的にはこのヨシ生長し、ヨシ原が形成されることで、ナガエツルノゲイトウの侵入を抑制ができるか、その可能性を確認したい。